

2023年度 経営学科「知の探究」

※) 標準履修年次2023年度2年生対象

※) 「知の探究」開設8クラス・リスト

※) 各クラス定員 29名 (予定)

※) 春学期終了頃に、履修を希望するクラスを3つ申請し、配属クラスを1つ決定

※) 各クラスの詳細な授業計画・内容については、シラバスを参照のこと

2023年度 開設予定クラス		曜日	学問分野 キーワード	授業概要 (シラバス)	授業計画概要
青木 勝一	アキ マサカズ	月3	公共経営	この科目は、3年次におけるゼミナールの基礎的な前提となる科目であり、専門領域の基礎的な理解を深めるためのものである。企業経営、公共経営、会計、経済・ファイナンス、統計・情報技術、法律など本学部の専門領域を網羅した形で各教員が担当する。専門の基礎を学ぶことで、3年次からのゼミナールへの移行がスムーズに行くと考えている。成績は、授業やグループ内での発言や議論への貢献、発表内容により評価する。	本授業では、公共経営分野における事例調査の手法や考え方の基礎を学び、次年度のゼミナール及び卒業論文の作成への導入を図るものである。今年度は足立区を事例として取り上げる予定である。事例に対して、様々な政策領域（産業、福祉、防災など）に関し、その自治体の直面する課題を調べ、その解決策あるいは取られている政策の改善案を考える。
石田 晴美	イシダ ハルミ	金2	財務会計、企業分析		「会計」分野のうち「財務会計」に的を絞り、①「財務会計」に関する現在のトピックを学ぶとともに、②主に有価証券報告書を活用した企業分析を行う。3年次のゼミナール履修に備え、最低限身につけておくべき社会人としての常識・マナーや自分で学び調べ、発表するための基礎を修得する。
鈴木 誠	スズキ マコト	金2	ファイナンス（金融）、インベストメント（投資）など		ファイナンスとは、経済学と経営学の交差する領域であるが、その扱う範囲は広い。本講座においては、基礎的な知識の習得を目指すこととする。具体的には、金融機関の役割について理解を深めたり、株式や株式投資について疑似的体験を通して考察したりする予定である。最終的には日経新聞の記事が理解できるレベルに達するように導きたい。
田中 克昌	タナカ カツマサ	月3	経営戦略、イノベーション、コンサルティング		経営戦略とイノベーションについて学修したうえで、経営コンサルタント（中小企業診断士を含む）の業務体験を目的とした2つのグループワーク「SDGsと新製品開発」、「オープンイノベーションによる事業拡大」を行います。グループワークでは、企業に関する的確に情報収集、整理・分析し、課題解決策を提案できる能力を身に付けます。また、企業の代表者という立場を疑似体験し、経営戦略について考察します。
遠山 道子	トヤマ ミチコ	金2	応用言語学、応用音声学		この授業は、「ことば」と「コミュニケーション」の多様な側面について理解を深めるためのものである。具体的には、ネーミングという現象／行動に言語の構造がどのように関わっているかを考察する過程で、日本語の音声・音韻体系（リズム、アクセント、音節構造など）についての知識を獲得し、音声の持つ影響力について考察する。
堀田 敬介	ホッタ ケイスケ	月3	問題発見、問題解決、オペレーションズ・リサーチ、シミュレーション、意思決定科学、経営科学		意思決定では複数の代替案（選択肢）から望ましいものを選択する。そのためには、適切な問題発見と問題解決の技法が必要となる。本授業では、PCを駆使してどのように問題発見・問題解決をするのか、いくつかのトピックについて実践的に学ぶ。ゲーム理論、シミュレーション、最適化、AI・ALifeなどを扱う。
山崎 佳孝	ヤマザキ ヨシタカ	月3	異文化マネジメント、国際人的資源管理		本授業では近年のグローバル化について、日本国内、海外生活や海外赴任で起こる様々な問題、トラブル、コンフリクトについて具体事例をもとに議論する。事例として、異文化コミュニケーション、異文化間ビジネスと経営、国際・海外留学等も取り扱う。授業ではグループ活動とプレゼンテーションにより学習効果を高める。
山本 顕一郎	ヤマモト ケンイチロウ	月3	法学、情報と法、インターネットの法律問題・社会問題		このクラスの共通の課題として「情報通信ネットワーク内では生じる様々な法律問題・社会的問題」を設定し、これを多面的に考究する。具体的には、SNS等への不適切投稿・誹謗中傷、プラットフォーム規制、フェイクニュース等々である。このような調査研究により、ネット空間に生起する諸問題を認識し、解決策の有無・方法を追究する。同時に、ゼミナール活動に必須の技能・スキルを養っていく。